

除細動器メンテナンスマニュアル

作成日 平成18年2月22日

臨床工学部

1. 外観の点検

- 1) 除細動器本体に破損や汚れがないこと。
- 2) パドル本体および大人用電極の樹脂部にひび割れや破損がないこと。
- 3) カールコードやカールコードのモールド部に亀裂がないこと。
- 4) 放電スイッチのつまみを引っ張り、つまみが引き抜けないこと。

2. 放電テスト

- 1) 出力エネルギー／モード選択つまみを“360J”に合わせる。
- 2) パドルをパドル収納部に収めたまま充電スイッチを押して、エネルギーを充電する。
「ププププ…」と間欠音が発生し、充電中のメッセージが表示されることを確認する。
- 3) 充電が完了すると「ブー」と連続音が発生し、画面に“360J”と“充電完了”のメッセージが表示されることを確認する。
- 4) パドルをパドル収納部に収めたまま、両方のパドル放電スイッチを同時に押して放電する。
- 5) 画面に「放電テストOK」と表示されるのを確認する。

3. 内部放電テスト

- 1) 出力エネルギー／モード選択つまみを“360J”に合わせる。
- 2) パドルをパドル収納部に収めたまま、充電スイッチを押して、エネルギーを充電する。
「ププププ…」と間欠音が発生し、充電中のメッセージが表示されることを確認する。
- 3) 充電が完了すると「ブー」と連続音が発生し、画面に“360J”と“充電完了”のメッセージが表示されることを確認する。
- 4) 出力エネルギー／モード選択つまみを“内部放電”に設定する。
画面に表示されているエネルギー値「360J」から、20秒以内で「0J」が表示されることを確認する。

4. 高圧コンデンサの点検

- 1) 電源“切”の状態から、アラーム解除ボタンを押しながら、出力エネルギー／モード選択ツマミを“セットアップ”に合わせる。
- 2) [項目] キーを押して、高圧コンデンサテストを選択し、[実行] キーを押す。
- 3) 出力エネルギー／モード選択ツマミを“200J”に設定する。
- 4) 充電ボタンを押し、エネルギーを充電する。
充電が完了すると、高圧コンデンサ容量テスト“合格”と表示されるのを確認する。
- 5) [メニュー] キーを押して、システムセットアップメニュー画面に戻る。

5. レコーダの点検

- 1) システムセットアップメニュー画面で、[項目] キーを押して、レコーダテストを選択し、[実行] キーを押すとテスト印字が開始される。
- 2) 印字された記録用紙の状態を確認し、印字のかすれや欠けがないことを確認する。

6. バッテリーの点検（注：バッテリーテスト開始から終了まで4.5～6時間かかる。）

- 1) システムセットアップメニュー画面で、[項目] キーを押して、バッテリーテストを選択し、[実行] キーを押す。
- 2) テスト開始前に装置にバッテリーが正しくセットされていること、電源コードがコンセントに接続されていること、レコーダに記録用紙が十分あることを確認する。
- 3) [スタート] キーを押すと、バッテリーテストを開始する。
- 4) バッテリーテストが終了すると“バッテリーは使用可能です”と表示されるのを確認する。